



原町CSだより

第2回学校運営協議会報告

開催日時 令和7年6月14日(土)

10:00~13:00

次第: 司会(委員長) 傍聴人1名

- 1 委員長・校長あいさつ
- 2 学校運営協議員 新委員と初参加の委員紹介
- 3 本日の流れについて
- 4 授業参観
- 5 熟議「原町小の現状分析(SWOT分析)」
- 6 給食試食・情報交換
- 7 事務連絡

学校運営協議委員 新メンバーです。

洗足二丁目町会長

洗足商店街振興組合理事長

授業参観の感想

今年度初めての学校公開で、どの学年もセーフティ教室が開かれました。1・2年生は「いかのおすし」連れ去り防止教室、3・4・5年生は情報モラル教室、6年生は薬物乱用防止教室の学習でした。

・学校全体が落ち着いているように感じました。保護者がいたからなのか、いつもそうなのか。
→普段とそんなに変わらないです。

・薬物なんて小学生とは無縁と思っていましたが、今は必要のですね。→勉強に集中できる、受験生は皆飲んでいると言われたり、薬と分からない形状だったり様々な手口で誘われることがあります。

・情報モラル教室では、同じ授業なのにワークシートを使っていたり、タブレットを使っていたりクラスによって違っていたのはどうしてですか。
→それぞれメリットとデメリットがあるので児童の実態に応じて学年で決めて統一しています。

熟議「原町小の現状について」SWOT分析

SWOT分析とは、外部環境と内部環境を、プラス要因とマイナス要因に分類して分析する手法のことで、企業でよく取り入れられています。始めにトヨタ自動車とマクドナルドのSWOT分析の事例を取り上げ、イメージをもってもらい、他校のSWOT分析の例を紹介してからスタートしました。参加委員の9名に加え、4名の教員と管理職が加わり、2つに分かれて熟議を行いました。分析はまだ途中なので次回も継続の予定です。



Strength(内部環境の強み)+ プラス要因

- ・各学年2クラスで人数がちょうどいい
- ・教室配置が1・6年の良い関係づくりになっている
- ・教員が授業の工夫準備をしている
- ・電子黒板やタブレットを使いこなしている
- ・縦割り班活動、そうじが、6年生のリーダーシップ向上や互いに助け合いになっている。
- ・運動会で、若い教員の動きが良かった。
- ・太鼓と合唱の課外クラブがある
- ・学校のトイレ、校舎の周囲がきれい

Weakness(内部環境の弱み)- マイナス要因

- ・屋上のビオトープが活用されていない
- ・書道の時間を増やせるといい
- ・そうじが少ない
- ・担任から児童の画面が見えない
- ・教員も児童も声が小さい
- ・土日が多忙で月曜日疲れている
- ・習い事の域を超えている子もいる

Treat(外部環境の阻害的要因)-

- ・公園が小さい、ボール禁止で遊び場が少ない
- ・運動ができないので習い事へシフトしている
- ・保護者の協力が偏っていて横のつながりも少ない
- ・渋谷が近くリスクがある・コロナ以降、顔や名前が見えにくい
- ・中学校が統合して遠くなり交流が減ってしまう
- ・良い環境や人材を生かし切れていない

Opportunity(外部環境の支援的要因)+

- ・住区のイベントで子どもが成長する
- ・原町小卒業の地元の方が多い
- ・周囲に保育園が多い
- ・子どもたちが地域と密である
- ・商店街の規模がちょうどいい
- ・地域と学校の連携がよい
- ・有名人が住んでいる



次回開催は7月16日(水)です